

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 3 月 22 日

事務事業名		いこいの家管理事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	020601000009
総合計画の施策名		0206 高齢者福祉の推進				単独/補助	単独	所属課	040501
政策名		02 安心と安らぎのある健康福祉社会づくり				主要事業	対象外	高齢福祉課	
施策名		06 高齢者福祉の推進				市長マニフェスト	対象外		
基本事業名		01 高齢者の生きがいがいつくりの推進				未来PJ事業	対象外	グループ	高齢福祉グループ
						合併建設計画事業	対象外		
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	03	01	12	02	00	いこいの家管理事業		
法令根拠						単年度のみ (年度)			
						← 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像) いこいの家は、高齢者の心身の保持・増進及び教養の向上を図る等、高齢福祉の増進に資することを目的として、大和庁舎北側に位置する木造平屋の建物です。施設の設定当初は公衆浴場設備がりましたが、現在は設備の老朽化により廃止しています。 利用者は高齢者の団体や、市が実施する介護予防教室等の高齢者施策事業に利用されています。 【施設概要】 和室1：16畳，和室2：16畳，和室：8畳，	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 【担当者が行う業務の内容】 施設利用申請書の受付許可事務、施設管理委託契約事務、委託費の支払 施設管理費の支払

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
施設利用申請書の受付許可事務、施設管理委託契約事務、委託費の支払、施設管理費の支払	申請件数	件	28.00	6.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
65歳以上の高齢者	高齢者人口 (65歳以上)	人	12,757.00	12,800.00	13,000.00	13,100.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
閉じこもり防止と健康増進を図る。	利用者数	人	58.00	30.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	期間限定 総投入量	
		(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)		
投入	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	585	320	482	0	0
事業費計 (A)		千円	585	320	482	0	0	
量	人件費	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人	0.00人	0.00人
		述べ業務時間	時間	150.00	150.00	150.00	0.00	0.00
		人件費計 (B)	千円	435	435	435	0	0
トータルコスト (A)+(B)		千円	1,020	755	917	0	0	

28年度事業費 実績 (千円)			29年度事業費 予算 (千円)		
11 需用費	48		11 需用費	44	
12 役務費	6		12 役務費	6	
13 委託料	266		13 委託料	432	
合計		320	合計		482

(4) 当該年度の実施内容

29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業		

事務事業名	いこいの家管理事業	事務事業No.	20601000009	所属課	高齢福祉課
-------	-----------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

平成23年度末でシルバー人材センター大和支所の事務所が撤退した。
平成24年度末でデマンドタクシーの事務所が撤退した。
現在は通常無人となっており、利用がある場合のみ開錠して使用してもらう状況である。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

「利用が少なくもったいない。高齢者施設としてではなく行政として他の用途で利用すべきではないか。」という声がある一方で、「利用がないのであれば施設維持経費がもったいないから取り壊すべきではないか?」といった意見も出されている。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

改革改善を行う

市行政組織内で公共施設の類似施設等の今後のあり方を検討する必要があると思われる。そのうえでの合理化・効率化を市民に理解してもらう必要がある。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	高齢者の交流の場の提供を目的としているが、急傾斜と段差のある敷地条件から高齢者の利用は避けられている傾向にある。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	市内に在住する高齢者の生きがいづくりや交流等を目的とした施設であるため、市が施設を設置維持管理することは妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	施設の老朽化に伴い、設備機器の不良が起きているため、貸出制限が必要となっている。今後、大規模修繕を行うか、施設廃止か、いずれかの選択をしていく必要がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	現在の貸出希望団体は、スポーツ少年団の大会時の救護所のみであるため、廃止しても支障はない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる	利用希望者があったとしても大和中央公民館・シトラスを代替施設として利用してもらえば、統廃合は可能である。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	施設の維持管理に伴う光熱水費・設備維持管理費などの必要最低限の経費で運用しているため削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	施設の利用目的である65歳以上の高齢者に対する使用料免除規定があり、それ以外の市民が利用する場合でも減免・免除規定があり公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	老朽化に伴う設備機器の不良が相次いだ。そのため、利用制限を行いながらの利用許可を行った。平成29年度以降の維持管理・修繕を考えると施設の存続について見直す必要があると考え、廃止の方針で話を進めた。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上	○																								
	維持			×																						
	低下		×	×																						
施設廃止に向けた合意形成と解体費用の予算措置、その後の跡地利用などを検討する必要がある。		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果	⑨																							
		コスト削減優先度評価結果	⑥																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>